

郷土芸能祭出演リスト

第1回（さつま町5周年記念 於：宮之城総合グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	湯田棒踊り	湯田区 流水小学校 文化財少年団（※）	島津藩政時代より現在まで伝わるといわれ、湯田地区の小学生を中心に継承されています。毎年10月10日の湯田八幡大祭で、青壮年が踊る秋津島舞とともに奉納されてきました。現在は、スポーツの日に合わせて披露されています。 ※令和4年4月、流水小学校、鶴田小学校が再編し、「鶴田小学校」になりました。
2	俵踊り	中津川区 中津川小学校 文化財少年団（※）	中津川地区の北方町集落では昔、お寺の落成式や祭りなどで「勸進相撲」が行われていたそうです。この催し物に寄付されたお金や米俵などを土俵の上に積み上げて、観客に披露した様子を踊りにしたのが由来とされ、昭和44年9月、町の無形民俗文化財に指定されました。中津川地区の小学生を中心に継承され、毎年「金吾様踊り」で披露しています。 ※令和6年4月、求名小学校、永野小学校、中津川小学校が再編し、「薩摩小学校」になりました。
3	湯田秋津島舞	湯田区 秋津島舞同好会	島津義弘公の時代にはじまったといわれ、豊作を願って、地区の産土神八幡神社の大祭に奉納するようになりました。一時途絶えたものの、昭和57年に29年ぶりに復活して以来、毎年披露しています。
4	棒踊り	佐志区 あながわ公民会	棒踊りの由来は、戦国時代に遡るといわれています。六尺棒2人、三尺棒2人の4人1組で、4組計16名で踊られています。もともと武術の一種ともいわれ、歌詞が同じことから、各地で踊られている棒踊り、三尺棒踊りと同じと思われます。